


しかはま自然観察会  『人も 自然も みんなともだち !』 No.7	代表責任者 古高 利男 ☎270-1132 我孫子市湖北台2-14-7 ☎090-7275-9890 2016, 9, 3
---	--

第7回活動「ハゼ釣り・川岸の生き物」

1, 日 時： 2016年9月3（土）午後4：00～6：00

2, 天 気： 晴れのち曇り

気温・・・28、0℃

水温・・・24、1℃

水質・・・濁っている

ゴミもたくさん

3, 交 通： 現地集合

4. 場 所：○都市農業公園の下、荒川

5, 講 師：福藤 恭司（鹿浜西小学校青少年委員）

6, 参加者：総数 18人

内訳	7家族	大 人	6
		中学生	1
		小学生	7
		幼 児	1
		スタッフ	2
		講 師	1

7, 活動の様子

○釣れた魚は？

*ハゼ・・・ 4

*セイゴ・・・16

(スズキの幼魚)

*カニ・・・ 1

*カナヘビ・・・ 1

*バッタ・・・ 1

○ 本命は？

本命の沙魚（ハゼ）は、わずかに4尾にとどまりました。

なぜなの？

それに比べ、セイゴがよく釣れました。

大きいものは20cmもあり、引きが強く、竿先は弓のように曲がりました。エサをのどの奥まで飲み込んでいるものが多く、針をはずすのに一苦労しました。

引きが強い分、手応えがあり、子どもたちは大いに釣ることを楽しめたようでした。

清水大智くんは、何度も「つれた！」と、とても満足気な顔でした。

ハゼの引きは弱く、釣れてもダラリンとぶらさがってきます。

それに比べて、セイゴはググッと引き、暴れながら上がってきます。

子どもたちにとって、セイゴは釣りの醍醐味を教えてくれたようでした。

セイゴは、スズキの小さい頃の名前です。名前が変わるので出世魚ともいわれています。そして、夏になると、海水の混じる河口に上がってくるようです。

セイゴ→フッコ→スズキ

○ ムカデのようなゴカイ！

エサはゴカイです。ミミズのようにくにくにやし、ムカデのように足がたくさんあります。なれないと、ちょっと気持ち悪い！

切れ易く、よく動き回るので、針につけるのが大変！

「つけてー」とくるたびに、「自分でも、つける練習を」「いやだ、気持ち悪い」と、断られました。

ゴカイ（沙蚕）

ゴカイ科の多毛類。

70～130個のいぼあしがある。浅い海の砂泥の中にすみ、10～11月の夜間に、生殖のために海面を群遊。

ゴカイも、じっくり観察してみましょうね。

○ カナヘビも釣ったの？

子どもたちは、いろいろなものを「つり」ます。

「かなへびがいたー！」と、持ってきます。

「バッタ、みつけた！」と、やはり得意顔です。

魚ばかりではなく、釣りながらいろいろな生き物を見つける子どもたちは、大人とちがい、柔らかい感性がたくさんあるようですね！

○ 反省会

ハゼ釣りの後は、山口さんの家で、反省会。

子ども4人、大人4人が参加しました。

山口さんは、すでにお寿司ご飯をつくってくれていました。

みんなで談笑するのは楽しく、その話の中から、次の活動へのヒントが産まれてきます。

ありがとうございました。